

# AIONA

サービス紹介資料

## モノづくりの設計を自動化するAIエージェント

---

AIONA 株式会社  
2026年3月

## AIONA

社名の由来である「AION」とは、古代ギリシャ語で「永遠」を意味します。人類は、知見や想いを代々受け継いで発展してきました。この伝承を絶えさせることなく、これからも社会が豊かに栄えていくことを支える存在でありたいと考えています。

|     |   |
|-----|---|
| 商号  | AIONA株式会社（アイオナ株式会社）                                   |
| 代表  | 代表取締役 浅野 友行   |
| 事業  | AI等の先進技術を利用したソフトウェアの企画、設計、開発、運営、提供                    |
| 資本金 | 1,000,000円  |
| 設立  | 2024年10月10日   |
| 本社  | 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号渋谷道玄坂東急ビル2F-C                        |
| WEB | <a href="https://aiona.co.jp">https://aiona.co.jp</a> |



# チーム紹介



浅野 友行  
CEO



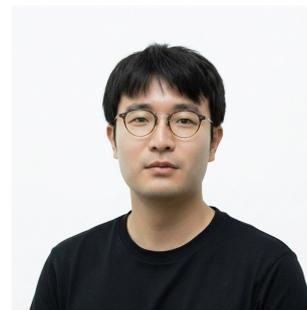
スタートアップの経営6年  
商社での駐在・留学で海外  
経験6年



古波津 勝彦  
CBDO



日産自動車で品質マネジメ  
ントや経営改革チーム  
独立してコンサルティング



大久保 維人  
CTO



インドでのCTO経験  
海外のハッカソンで受賞や  
ギネス記録

## Accelerator Programs

# PLUGANDPLAY

VC

**Plug and Play Japan**

Mobility Program Summer 2025に採択

# intloop

コンサルティングファーム

**INTLOOP Ventures**

共創型アクセラレータープログラム「IVA」に採択

# SET SAIL!

自治体

**神戸市 SET SAIL!**

神戸市主催「SET SAIL!」プログラムに採択



**AICHI Manufacturing  
Acceleration Program**

自治体

**愛知県 A-MAP**

AICHI Manufacturing Acceleration Programに採択

# Aichi CO-CREATION STARTUP PROGRAM 2025

自治体

**AICHI 共創プログラム**

AICHI CO-CREATION STARTUP PROGRAM 2025に採択

SOCIAL ISSUE

# モノづくりの危機

人手不足と熟練者引退により  
不具合や開発遅延のリスクが高まる

## アナログで属人的な設計業務

1

アナログ



人手不足ながら、非効率な作業が多く、**検討・準備に多大な時間を要する**

2

属人化



熟練者の経験や知見に依存していて、**若手の設計には抜け漏れが生じがち**

過去のノウハウが「伝わらない」、「見つからない」、「使えない」

伝わらない



忙しくて文書化できず、  
背景・理由の情報が欠如

見つからない



膨大なファイルが散在  
し、検索性が悪い

使えない



関連する適切な情報を判  
断することが困難

業務自動化とノウハウ活用で、誰もが高品質の設計を高速で実現できる体制

生産性向上



人手不足に対応



品質改善



不具合の削減



開発短縮



売上・利益の向上

# AIQNA

モノづくりのノウハウを活かして  
設計開発を支援する  
AIレビューアー



## 膨大な技術文書と設計の暗黙知を活用し、設計を自動化するAIエージェント

構想設計



基本設計



詳細設計



試作・量産



機能1

設計インテリジェ  
ンスの基盤構築

- 技術文書・図面の構造化
- コンテキストとの紐付け
- 設計情報の検索
- 技術文書の生成

機能2

設計プロセスの  
高度な自動化

品質機能展開

流用設計選定

FMEA/DRBFM

検図

# 機能①：設計インテリジェンスの基盤構築





## 情報検索に止まらず、設計プロセス全体の高度な自動化支援が特徴

1



### 設計プロセス全体の自動化

単発の業務自動化に留まらず、構想設計から基本設計、詳細設計、試作・量産のバリューチェーンにおける複数業務を横断的に自動化・連携させ、プロセス全体で大きな効果を創出。

2



### 設計業務の本質的な課題解決

製造の上流から下流まで設計バリューチェーン全体を理解したコンサルティングにより、プロダクトありきではなく顧客の本質的な課題特定から解決策を提案。

3



### 部署を超えたナレッジ活用

取引先間で技術文書が行き交い、各社が個別に非効率に管理してきた情報を、プラットフォーム上で共有することで、サプライチェーンでのナレッジ活用を促進。

**AIONA**